

令和3年度 英語学習実施状況について

金沢市立鞍月小学校

小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和4年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	22.0	48.0	22.0	8.0	0
問2	英語の勉強は大切だ。	64.0	30.0	5.0	1.0	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	32.0	45.0	14.0	9.0	1
問4	英語の授業の内容がわかる。	45.0	43.0	8.0	3.0	1
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	22.0	54.0	19.0	5.0	1.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	19.0	58.0	15.0	7.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	85.0	13.0	2.0	1.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	68.0	18.0	9.0	5.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリ - の単語や英文を書き写すことができる。	77.0	15.0	4.0	4.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	34.0	42.0	16.0	8.0	0.0

指導改善の具体策(令和4年2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・教師のSmall Talk、デジタル教科書の音声など、言語材料となるインプットを工夫して聞かせ、意味を推測させたり、表現を捉えさせたり、段階的に児童が理解し習得できるようにする。
- ・場面や目的を明確にして、コミュニケーション活動ができるように工夫する。また、「言いたいことを言えない」または「伝わらない」という自分の知識と必要な知識とのギャップを大切に、振り返りながら、繰り返しコミュニケーション活動を行っていく。
- ・全体 グループ ベアというように無理なく発話できるように活動形態を工夫する。

学校関係者評価

- ・「英語の勉強は大切だ」(94%)、「英語の授業の内容が分かる」(88%)に比べ、「英語の勉強が好きだ」が70%と低くなっている。大切だと思、「内容も分かる」のになぜ好きと回答する子が少ないことが、疑問であり、鞍月小の課題でもあると思う。「英語嫌いをつくらない」ことは、中学、高校へと上級学校へ 進学していく子どもたちへの大事な視点だと思う。改善策としては、「工夫して聞かせる」「段階的に理解し習得できるようにする」「場面や目的を明確にして」などを今後も継続して指導していくことが大切だと思う。その一方で、子どもが興味を持った学習場面を集積し、要因を分析し、「こうすれば子どもたちは興味を持って英語に取り組む」という指導方法をみんなで共有することが大事だと思う。
- ・アンケートから見えるもう一つの点は、「質問したり答えたりすること」と、「英文を読むこと」を苦手と感じている子がやや多いということ。つまり「声に出して表現する力」にやや弱さがみられると思う。英語を声に出すことは相当な勇気を伴うことであると思うので、小さな集団から初めて、根気よく、無理なく、繰り返すよりほかに近道はないと思う。もうひとつ大事だと思うのは、「発話が必要な場面や状況」をいかに作り出せるかということである。自分自身が海外研修で学んだことは、「必要に迫られれば、人は何とか伝えようとする」ということである。それが「指導改善の具体策」にある「場面や目的を明確にして」ということだろうと思う。英語学習の導入部分を大切に指導にあたってはどうか。